

黒崎南ふれあい協議会ニュース

第31号

ふれあいかわら版

にぎやかで盛大な芸能音楽祭
延べ279人が熱演♪♪

歴史と伝統を誇る木場地区芸能音楽祭が、去る11月18日(日)黒崎南小学校体育館において開催されました。親睦と融和を目的とした芸能音楽祭は、秋の収穫祭を兼ねて、開催数も24回目を数えております。

開会式で、来賓の青木太一郎県議会議員から「歴史と伝統を誇る芸能音楽祭が住民の努力で第24回を迎えた。保育園から老寿会まで各界各層、住民総出で今日一日を楽しんで欲しい」旨の、加藤雅之黒崎南小学校長からは「地域の方々から教わった伝統芸能を披露する南小の児童達が、地域のために伝統を継承して盛り上げて芸能音楽祭が末永く続けたら有り難い」旨のご挨拶をそれぞれ頂戴しました。

引き続き、今年百寿者となられた木場八割の大谷ハルノさんに対して木場連合自治会からご長寿をたたえて、小林忠芳連合自治会長から表彰状の授与が行われました。

また、大谷ハルノさんのお元気なご様子に接した多くの方々からも祝福の声が寄せられていました。

芸能音楽祭は、午前の部と午後の部に分かれて40チームが、それぞれ素晴らしい踊りや創作劇や演奏を披露しました。

午前の部は、木場保育園の幼児らが先陣を切って、組体操と旗を使ったお遊戯を「ARASHIをまきおこせ」の曲目で披露し、木場子供会の児童からは、郷土芸能の棒踊り・花笠踊り・手踊りを披露し、それぞれ拍手喝采でした。

続いて、芸能保存会、老寿会、民謡クラブ、女性部、ダンスクラブらが自慢の踊りを披露しました。

中でも84才の榎岡セツさんが、氷川きよしのデビュー曲「箱根八里の半次郎」で、股旅姿の踊りを披露し、注目を浴びました。

午前の部の締めは、木場小唄の会の皆さんが「木場小唄」の曲目で遠い昔の郷愁を誘うように優雅に踊ってくれました。

木場小唄の踊り



お昼休みになると、広い体育館は一転して昼食会場となって、来賓・出演者・応援者・関係者らの参加者約450人にトン汁が振る舞われ、大量のトン汁がそれぞれの胃袋へと運ばれて行きます。

また、昼食後は一般の方のカラオケと特別出演として愛一二三歌謡ショーが行われ盛り上がりました。

午後の部は、こぶし会、老寿会、女性部、民謡クラブが、それぞれの曲目で自慢の踊りを披露しました。中でも注目の新田自治会の女性パワーが、「千恵つ子よされ」の曲目でスコップ三味線を演奏します。鎌を持つ手でバチを持ち、草を掴む手に弦をつかみ、右と左の手を動かし必死に演奏します。女性部・老寿会の合同演奏に拍手喝采。

そして、最後は民謡クラブが、木場の春夏秋冬の風情や農作業の様子が盛り込まれている「木場小唄」の踊りで、芸能音楽祭の楽しい一日を終えました。



スコップ三味線による演奏

郷土を空から眺めて楽しむ!!

北場自治会の収穫祭が10月7日(日)に開催され、恒例の遊覧飛行も行われました。翌8日(月)に黒崎南ふれ協の自治会にも呼びかけて2日間で約100人が遊覧飛行を楽しみました。運航は東邦航空株式会社でした。

収穫祭の第1日目は、婦人部や若妻会らが公民館で、北場米のモチ米を利用して「おはぎ」や「栗おこわ」をつかって全戸配布をするという収穫を祝うお祭りです。

この祭りに花を添えるのが遊覧飛行の企画で、北場地域の関係者約50人が黒崎の上空を旋回するフライトを楽しみました。

なかでも冥土の土産に何度も乗ったと誇らしげに語るお年寄りもご満悦の様子です。また、子ども達も、降りるときの機体の傾きにスリルがあったと興奮気味に語っていたのが印象的です。

収穫祭の第2日目は、黒崎南ふれ協の自治会から約50人が空の旅を楽しみました。その感動の様子をリアルにお伝えします。



離陸です

(離陸)「すごーい」「この瞬間がいいんだよ」「ほーれ、だから乗って良かったろが」「すごーい」「だから面白いと言ったろが」「すごーい」「これは大野小学校だ」「中ノ口川が曲がっている、うねっている」「あれが緑と森の運動公園」「あれが黒崎南小学校だ」「あれは埋蔵文化財センターだろう」「フホー、ホバリングだ」「すごーい」、機体が急降下して傾くと「これだよ、これだよ」ハッハッハ——。ホー！ホー！（着陸）



降りて、記念撮影

香木優歩さん(高2)に聞きました。

- ◎乗った感想を聞かせて。
- ▲すごーく高くて広くてすごかった。
- ◎何が一番印象に残ったか?
- ▲えー、何か全部が広くてみたいな!
- ◎また、乗りたいですか?
- ▲乗りたい、乗りたいです。

香木みのりさん(中2)に聞きました。

- ◎どうでしたか?
- ▲すごく楽しかったです。で、家とかがすごーくオモチャに見えました。
- ◎黒崎南小学校は分かりましたか?
- ▲はい分かりました。結構良く見えました。
- ◎川の流れは?
- ▲すごく曲がって蛇行してました。

浜端康平さん(小5)に聞きました。

- ◎怖くなかった?
- ▲急降下するところが少し怖かった。
- ◎印象に残ったところは?
- ▲南小が小さく見えました。グラウンドが緑の芝生で綺麗でした。

水と土の芸術祭を鑑賞して

去る10月26日(金)に生活環境部会の企画で「水と土の芸術祭」を見聞してきました。

芸術祭には約60人のアーティストによる現代アート作品の展示があります。当日は36人の参加で、万代島メイン会場の作品と斉藤家別邸や欲火鳳凰など数カ所の鑑賞でしたが、斬新な作品やこれって何?など制作者の意図が判らない作品等もありました。主催者から作者の意図や制作日数など色々と説明して頂き、半日程の少ない時間でしたが楽しく鑑賞してきました。

王文志さんの作品「欲火鳳凰」

この芸術祭は三年毎に開催されるイベントで12月24日までの開催です。時間をつくり鑑賞してみてください。



茶豆ふれあいライン沿線に花を植えました。

昨年、みどりと森の運動公園から黒崎南部公民館までの間を市にお願いして「茶豆ふれあいライン」の愛称をつけて頂きました。当ふれ協では緑化促進の一環として道路沿線の草刈り作業と花の植栽を実施する事とし、市からの受託で8月に地元農家組合で草刈り作業を実施しました。

10月には大型のプランター26個を配置し、パンジー苗330ポット植え付けました。通りがかりましたら鑑賞してください。

